

ファイナンス入門		講義	教授 矢島 格
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目 教職科目	科目ナンバリング	23010101 25310104

1. 授業のねらい・概要

きわめて広い概念を持つ金融・ファイナンスの知識を、主に金融実務の面からわかりやすく説明する。

これから経済学や経営学あるいは会計学を学ぶ者にとって、金融・ファイナンスの基礎知識は必須のものである。なぜなら、世の中で行われている経済活動（モノやサービスの取引や、情報や人の移動など）は、すべてお金の流れと表裏一体であるからである。

しかし、金融・ファイナンスに対する一般的なイメージは、残念ながら、数学や数式を多用する抽象的でわかりにくいというものである。この授業では、こうしたイメージが根強いことを念頭におき、難解な数学や数式はできる限り使わずに、具体的な事象を紹介しながら平易な説明をしていきたい。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら金融・ファイナンスに関する基本的な考え方について講義形式で説明する。なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. ファイナンスとは	8. 短期金融市場
2. お金とは何か	9. 資本市場と証券会社の業務
3. 貨幣の機能	10. デリバティブ取引とその影響
4. 貨幣の歴史	11. マネースtockと金融政策
5. 銀行の信用創造と通貨制度	12. 中央銀行と金融政策
6. 金融取引と金融機関	13. 日本の金融と政策の歴史
7. 金融商品	14. 日本の金融自由化
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。なお、これらの準備学修には、2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出時に採点・評価のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

金融・ファイナンスの基礎知識を修得して、実際の経済・社会の仕組みやあり方を考えるうえで金融・ファイナンス知識が重要であることが理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（50%）およびレポートの結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時までに指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件は特にない。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。